

注目ポイント 栗原でゼミ合宿

調査研究は多種多様なテーマに対応

農業や自然を軸にした観光、農村コミュニティの活性化等、お問い合わせいただく調査研究のテーマは文系・理系を問わず、多種多様です。栗原市では、栗原市観光物産協会と行政、関係機関が連携し、大学側の要望に合わせてオーダーメイドでプログラムを提供し、実施をサポートしています。

大学との連携プロジェクトを積極的に受け入れ

栗駒山麓ジオパークでは、主に地質学分野で協力している大学が複数あります。その他、東京大学林憲吾研究室とくりはらツーリズムネットワークとのコラボで2020年3月に始動した「長屋門ステイProject」は、大学と地域との新たな連携の形として注目されています。

スポーツ合宿はホッケーが人気

ホッケーが盛んな栗原市には、人工芝のホッケー場が2カ所あり、年間を通じての利用が可能です。首都圏の大学のホッケー部などに利用いただいています。また、陸上競技では日本陸連第3種公認の陸上競技場が利用できます。



地域の特徴的な建造物「長屋門」を宿泊施設化する「長屋門ステイProject」

Q&A よくある質問

Q1 ゼミ合宿で利用できるお得な補助制度などがありますか？

▶ 合宿宿泊費の補助やレンタカー利用へのキャッシュバックサービス

栗原市では、栗原市内の宿泊施設に宿泊してスポーツ・文化活動の合宿を行う市外の団体に、宿泊費等を補助する「ガンバレ！栗原市スポーツ・文化合宿支援事業補助金」を実施しています。また、レンタカーを利用し、「栗原市内登録店」で観光、体験、買い物、食事、宿泊をした場合、利用額に応じてキャッシュバックサービスが受けられます。

*補助金の問い合わせ先：栗原市教育部社会教育課 ☎0228-42-3514 URL <https://www.kuriharacity.jp/>
*レンタカーキャッシュバックサービスの問い合わせ先：栗原市商工観光部田園観光課 ☎0228-22-1151

Q2 一人参加の調査研究や滞在中、お勧めのプログラムは？

▶ ジオパークの調査研究を徹底サポート！助成制度もあり

栗駒山麓ジオパークでは、個人の調査研究に専門員がマンツーマンで相談に乗り、現地調査に同行します。また、栗駒山麓ジオパークを対象に研究活動を行う学生や研究者に対し、「栗駒山麓ジオパーク学術研究等奨励事業」として調査研究費を助成しています。令和3年度は1件あたり最大40万円を助成(募集終了)。令和4年度の募集はお問い合わせください。

*問い合わせ先：栗駒山麓ジオパーク推進協議会 ☎0228-24-8836

▶ ゆるく おもしろく、つながる

栗原市では、「おかえり 栗原。」プロジェクトやマッチングサイト「おてつたび」を通して、地域の祭り・イベント、農林業、商店街の取組みなど、様々なフィールドで熱意ある活動を展開している「人」と都市部の学生の皆さんをつなぐプロジェクトを不定期で開催しています。

*問い合わせ先：栗原市企画部定住戦略室 ☎0228-22-1125

栗原市移住定住サイト『きてみらいん くらしたい栗原』
<https://www.kuriharacity.jp/welcome/>

Q3 移動手段が心配です。公共交通機関は？

▶ 都市部からのアクセスが簡単！

東北新幹線「くりこま高原駅」(仙台駅から乗車約30分)が拠点になります。駅からは、タクシーや借上バス、レンタカーで移動する方法が一般的です。また、仙台駅からくりこま高原駅までは高速バスがリーズナブル(所要約1時間10分、往復2,700円)。「くりこま高原駅」まで送迎サービスがある宿や施設もあります。

*問い合わせ先：(一社)栗原市観光物産協会 ☎0228-25-4166



滞在中もゆるやかなつながりが続き、オンラインのコミュニティも盛り上がっています



天気がよい日は、電動アシスト付き自転車(Eミニベロ)をレンタルしての散策もおすすめです



くりはら 栗原 だけができる
オーダーメイドのプログラム

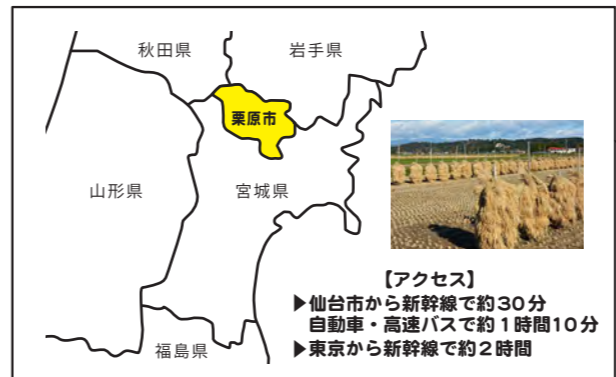
大学生
歓迎

研究や活動の合宿に

栗原市の合宿プログラムは、あなたの研究や活動に合わせてオーダーメイドでつくることができます。豊かな自然・農業・歴史・文化、この地域ならではの季節のレジャー・スポーツ施設さらには新たなスタイルのまちづくり等から、あなたにぴったりのプランが見つかるはず。ゼミや部活・卒論執筆・レジデント型研究など、充実した合宿をぜひ栗原で！地域のみんなでお待ちしています。

栗原市ってどこ？

栗原市は宮城県の最北にあります。岩手県と秋田県に接しており、ちょうど東北の真ん中あたりです。奥羽山脈のへそ「栗駒山」のふもとで、自然と共生しながら、稲作を主とした農業で暮らしを育んできた地域です。



【アクセス】
▶ 仙台市から新幹線で約30分
自動車・高速バスで約1時間10分
▶ 東京から新幹線で約2時間

2005(平成17)年4月1日に旧栗原郡10町村が合併して誕生。

【面積】804.97km² *面積の8割近くが森林や原野、田畑
【人口】69,906人 【世帯数】23,133世帯
(出典：平成27年国勢調査報告)

合宿・研究に使える助成金制度



モデルコース・問い合わせ先

宿泊・交通・食事・観光などの情報

栗原市観光ポータルサイト
『ぎゅぎゅっとくりはら』
<https://www.kurihara-kb.net/>



「栗原でゼミ合宿」のPR映像

宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所
『公式YouTubeチャンネル』
はコチラ



宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所 〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木5番1号
☎0228(22)2195 FAX 0228(22)6284

*このパンフレットは2021(令和3)年10月現在の情報を元に作成しました。各種助成金や支援制度等は変更になる場合があります。

1泊2日 体験コース

ゼミ合宿に
ピッタリ!!

通年で実施できるモデルコース紹介!

栗原市でのゼミ合宿は、自然環境の保護・保全、商店街再生、農村コミュニティ、アートなど、学びのテーマが幅広い。調査研究や体験を盛り込んだ特色あるプログラムが企画できます。さらに、卒業に向けた冬のゼミ合宿にオススメの冬ならではのコンテンツもピックアップ!

1 栗駒山麓ジオパークのガイドプログラムを体験

年間100件以上の学習・視察プログラムを受け入れている栗駒山麓ジオパークのガイドプログラムの準備から振り返りまでの行程に参加し、自然環境の保護・保全や調査、教育普及といった取り組みを体験します。

DATA

【受入人数】3~40名
【費用(目安)】2,000円/人・2日間
※宿泊費・食費・交通費は別途
【場所】栗駒山麓ジオパークビジターセンター
【スケジュール(例)】
<1日目>
午後：オリエンテーション
ガイドプログラムの下見
レクチャー
夕刻：1日目の研修終了
宿泊：栗原市内
<2日目>
午前：ガイドプログラムの実施
午後：ガイドプログラムの振り返り
レクチャー
全体の振り返りとまとめ
夕刻：研修終了



栗駒山麓ジオパークビジターセンターには展示の他、レクチャー室があり、Wi-Fiを完備し、無料で利用できます。ガイドプログラムは、季節や天候に応じてフィールドを変えて学習します。

栗駒山麓ジオパークとは?

平成20年岩手・宮城内陸地震や東日本大震災を後世に伝えるために、研究や防災教育、観光に活用するための取り組みです。ジオサイトとよぶ見どころをジオガイドの案内で見学したり体験したりできます。



栗駒山麓ジオパーク推進協議会
〒989-5372 宮城県栗原市栗駒松倉東貴船5番地
☎0228(24)8836 ✉geopark@kuriharacity.jp

2 Leave No Trace 資格取得と山の暮らし体験

自然を利用するすべての人が環境に対する責任をもち、楽しく利用するための環境倫理プログラム「Leave No Trace (リープノートレース)」を学びます。また、薪割やロープワーク等の山の暮らしを体験します。

DATA

【受入人数】4~15名
【費用(目安)】16,500円/人・2日間
※宿泊費・食費を含む、交通費は別途
【場所】くりこま高原自然学校
【スケジュール(例)】
<1日目>
LeaveNoTraceアウェアネスワークショップ
午前：屋内での講座
午後：屋外での実習
宿泊：ログハウス・コテージ等
<2日目>
午前：山の暮らし体験
※薪割・ロープワーク講座等



くりこま高原自然学校では、人と自然の共生をテーマにキャンプ・沢遊び・森のようちえん・スノーハイク・イグルー作りなど自然体験によるエコツアやネイチャーツアーを実践しています。

LeaveNoTraceとは?

環境に対するインパクトを最小限にして、アウトドアを楽しむための環境倫理プログラムです。すべてのテクニックが、7つの原則を基にしており、誰にでもわかりやすく、楽しく実践することができます。日本語に訳すと「足跡を残さない」という意味です。



くりこま高原自然学校
〒989-5371 宮城県栗原市栗駒沼倉耕英中57番地1
☎0228(46)2626 ✉kouei@kurikomans.com



昼食後：研修終了

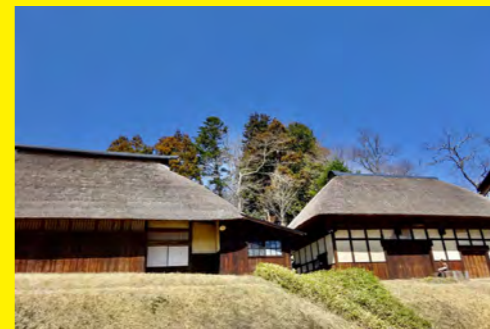
3

風の沢ミュージアムのイベントをサポート

築約200年の古民家を修復した「風の沢ミュージアム」で、作品のライトアップ照明設置などナイトミュージアムの準備と当日の運営を体験します。参加者との交流会や、ミュージアムの日常に触れてみましょう。

DATA

【受入人数】2~6名
【費用(目安)】6,500円/人・2日間
※宿泊費・食費を含む、交通費は別途
【場所】風の沢ミュージアム
【スケジュール(例)】
<1日目>
午後：オリエンテーション
展示・施設見学
夜：ナイトミュージアム準備・運営
撤収作業後、夕飯・交流会
<2日目>
午前：ミュージアム開館準備
ミーティング後解散



春から夏にかけて、かまどづくりや茅の差し替えワークショップ、秋には「くりはら万葉祭」を開催しています。季節によって、古民家を活用した様々なイベントがあります。

風の沢ミュージアムとは?

現代アート美術館、馬屋小劇場、ギャラリー、カフェ、レジデンス棟、里山公園からなる文化複合施設です。企画展示のほか環境保護活動、地域の民俗の集積、様々な表現者の舞台、そして学びの場としての役割を担う特徴的な建物と環境を整備しています。



風の沢ミュージアム
〒987-2302 宮城県栗原市一迫片子沢外の沢11番地
☎0228(52)2811 ✉info@kazenosawa.jp

4

フルオーダーメイドで希望の合宿プランを企画

希望や要望を聞きながら行程を作る受注型企画旅行が可能です。その一例として、シャッター通り商店街からの復活として注目を集める「六日町通り商店街」の視察と農村文化体験を組み合わせたプランを紹介します。

DATA

【概要】
受注型企画旅行では、視察研修だけでなく、宿泊、食事や交通の手配を含めて企画できます。安心してお任せください。
【スケジュール(例)】
<1日目>
午後：六日町通り商店街視察プログラム
・レクチャー
・商店街ガイドウォーク
宿泊：栗原市内
<2日目>
午前：くりはらツーリズムネットワークの活動紹介
昼：地産地消・郷土料理等の地元食
午後：体験プログラム
・モノづくり(わら細工)
・地元食の調理実習
夕刻：見学(モノづくりや農業の生産現場、買い物(直売所など)等



先進的な取り組みやユニークな活動に取り組んでいる事例がたくさんある栗原市。他にも、農業や移住・定住など、多様な視察先をご紹介します。

くりはらツーリズムネットワークとは?

100種類以上の体験プログラムを年間100回以上開催しています。グッドデザイン賞や過疎地域自立活性化優良事例総務大臣賞などを受賞。体験プログラムの実践事例や地元食を生かした活動などの講演は、地域づくりに興味のある方は必聴です。



一般社団法人栗原市観光物産協会
〒989-5612 宮城県栗原市志波姫新熊谷284番地3
☎0228(25)4166 ✉kurihara-kb@grace.ocn.ne.jp

冬

冬合宿のおすすめコンテンツ

栗原の自然・文化が体感できる冬季限定のメニューです! 厳しい冬をたくましく生きる栗原市の暮らしを体験できます。



マガンの飛び立ち・ねぐら入り観察

ラムサール条約登録地の伊豆沼・内沼に飛来する数万羽のマガンの飛び立ちやねぐら入りを観察。

☐(一)くりはらツーリズムネットワーク



古民家でワークショップ

茅葺屋根の古民家での生活や日常を体験。囲炉裏への火入れや、茅の刈り取りができます。

☐風の沢ミュージアム



栗駒山でスノーハイク

国定公園の栗駒山で歩くスキー「スノーハイク」を履いて冬の山や森を探索し、イグルーでティータイム。

☐くりこま高原自然学校